

令和6年度小学校教科教育推進研修（国語科）研究成果物（指導について）

指導者 Cグループ 東広島市立東西条小学校 平本 光
指導学年 第2学年1組 30名

1 単元名及び教材名

ビーバーのひみつ！すごいところランキングをお家の人にしょうかいしよう
「ビーバーの大工事」（東京書籍「新編 新しい国語 二下」）

2 児童観

本学級の児童は、5月に行った説明的な文章「たんぼぼ」を読む単元において、時間的な順序を考えながら内容の大体を捉える力を、7月に行った「どうぶつ園のかんばんとガイドブック」を読む単元では事柄の順序を考えながら内容の大体を捉えるとともに、文章の中の重要な語や文を考えて選び出す力を身に付けることをねらった学習をしてきている。「たんぼぼ」の学習では、児童の既知の知識や経験と関連付けながら授業を進めた。言語活動を「たんぼぼブックを作ろう」とし、お家の人へたんぼぼについて知らせるという目的を設定して文章を読んだ。教材文を読んで分かったことをまとめるだけでなく、調べて分かったことや既知の知識を付け加えて文章を書くことができた。しかし、既知の知識にも差があったため、教材文を読んで分かったことだけをまとめた児童もいた。

単元前の児童アンケートの結果から、およそ9割の児童が国語の授業が好きであることが分かった。国語科の授業に意欲的に取り組んでいる。しかし、説明的な文章に書かれている内容を理解することに苦手意識をもっている児童が2割程度いることも分かった。その理由として、「大事な言葉を見付けることが苦手」「意味の分からない言葉がある」と回答している。また、児童は、文章の内容と自分の体験とを結び付けて考え、感想をもつという「考えの形成」を身に付けさせることをねらいとした学習を経験していない。そのため、指導に当たっては、児童の実態を把握し丁寧に指導する必要がある。

3 指導観

指導に当たっては、児童が意欲的に学習に取り組みながら、教材文の精査・解釈ができるようにするために、言語活動を「ビーバーのすごいところランキングをお家の人に紹介しよう」とする。自分の体験と結び付けて、ビーバーの生きる知恵についての理解を深め、自分の感想をもつために、読みながら想起された経験をメモに残したり、振り返りの視点を用意したりする。教材文には、児童にとって難しい言葉が多数書かれているため、語句の理解を深めるために、言葉の意味をおさえながら読ませたり、毎時間振り返りを書かせたり、写真や具体物などの掲示物を用意したりすることで内容の確認ができるようにする。また、重要な語や文を捉えることができるようにするために、大切な言葉に線を引いたり、体の特徴やダム作り・巣作りに関係のある言葉かどうかをその都度確認をしたりしながら進めていく。

また、学校司書と連携をし、動物について書かれている図書を学習のスタートから準備し、並行読書を充実させることで、次の単元である「どうぶつカードをつくろう」の学習への見通しをもたせる。

4 指導と評価の計画（全12時間）

次	時	学 習 内 容	評 価			
			知	思	主	評価規準・ 評価方法 等
一	1	○ビーバーの巣の写真を見たり、ビーバーの巣作りの映像を見たりして、教材文を読むことへの意欲をもつ。 ○指導者による、教材文の範読を聞く。				

	2	○教材文を読んで、内容の大体をつかみ、学習の見通しをもち、学習計画を立てる。 ビーバーのすごいところランキングをお家の人に紹介しよう																
二	3	○教材文を読み、文章のまとまりを捉える。 ① 木を切り倒すビーバー ② ダムを作るビーバー ③ 巣を作るビーバー																
	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	○教材文を読み、体の特徴やダム作り・巣作りの順序を整理する。 ・体の特徴 <table><tr><td>体のとくちょう (つくり)</td><td>できること (やくわり)</td></tr><tr><td>はするどい</td><td>木をきりたおすことができる</td></tr><tr><td>後ろ足 水かきがある</td><td>水の中で体をおしすすめることができる</td></tr><tr><td>オールのような形</td><td>かじをとることができる</td></tr></table> ・ダム作り・巣作りの順序 <table><tr><td>木を切りたおしてはこぶ</td><td>1 木をきりたおす 2 さらにみじかくかみ切る 3 くわえて川のほうへひきずっていく 4 木をくわえてたまおよぐ</td></tr><tr><td>ダム作り</td><td>1 木をくわえて水のなかへもぐる 2 木のとがった方を川のそこにさす 3 小えだをつみあげる 4 石でおもしをする 5 だろでかためる 6 はんたいがわのかわがしまでのびていきりっぱなダムができる</td></tr><tr><td>すづくり</td><td>1 ダムができあがる 2 水がせきとめられて、みずうみができる 3 みずうみのまん中にすを作る。</td></tr></table>	体のとくちょう (つくり)	できること (やくわり)	はするどい	木をきりたおすことができる	後ろ足 水かきがある	水の中で体をおしすすめることができる	オールのような形	かじをとることができる	木を切りたおしてはこぶ	1 木をきりたおす 2 さらにみじかくかみ切る 3 くわえて川のほうへひきずっていく 4 木をくわえてたまおよぐ	ダム作り	1 木をくわえて水のなかへもぐる 2 木のとがった方を川のそこにさす 3 小えだをつみあげる 4 石でおもしをする 5 だろでかためる 6 はんたいがわのかわがしまでのびていきりっぱなダムができる	すづくり	1 ダムができあがる 2 水がせきとめられて、みずうみができる 3 みずうみのまん中にすを作る。	○	
体のとくちょう (つくり)	できること (やくわり)																	
はするどい	木をきりたおすことができる																	
後ろ足 水かきがある	水の中で体をおしすすめることができる																	
オールのような形	かじをとることができる																	
木を切りたおしてはこぶ	1 木をきりたおす 2 さらにみじかくかみ切る 3 くわえて川のほうへひきずっていく 4 木をくわえてたまおよぐ																	
ダム作り	1 木をくわえて水のなかへもぐる 2 木のとがった方を川のそこにさす 3 小えだをつみあげる 4 石でおもしをする 5 だろでかためる 6 はんたいがわのかわがしまでのびていきりっぱなダムができる																	
すづくり	1 ダムができあがる 2 水がせきとめられて、みずうみができる 3 みずうみのまん中にすを作る。																	
三	9 (本時) ・ 10 ・ 11	○ビーバーのすごいところについての感想を「ビーバーのすごいところランキング」にまとめる。(本時) ○作成したビーバーのすごいところランキングを読み合い、アドバイスや感想を述べ合う。 ○アドバイスを参考に、ビーバーのすごいところランキングを加筆・修正する。		○	[思考・判断・表現①] ワークシート⑤ ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○ [主体的に学習に取り組む態度①] 行動観察・ワークシート⑤、⑥ ・進んで、文章の内容と自分の経験を結びつけて感想をもち、学習課題に沿って、分かったことや考えたことを文章にまとめようとしている。													
四	12	○学習の振り返りをする。																
次 単 元		○並行読書をして調べておいた「どうぶつのひみつ」を次単元「『どうぶつカード』を作ろう」で活用する。																

動物について説明されている図書の並行読書

5 本時の学習（9／12 時間目）

（1）本時の目標

ビーバーの「すごい」と思ったことの中から1つを選び、文章の内容と自分の既有的知識や経験とを結び付けて解釈し、自分の考えや感想を文章にまとめることができる。

（2）学習の展開

学習活動	○指導上の留意点 □主な発問 ・予想される児童の反応 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
1 前時までの学習を想起する。	○既習内容をまとめた掲示物を活用しながら、ビーバーの体の特徴やダム作り・巣作りの順序を振り返ることができるようにする。	
2 本時のめあてを確認する。	めあて ビーバーのすごいところがつたわるようにかんそうを書こう。	
3 ビーバーのすごいところランキングを作成する。	○お家の人にビーバーのすごいところが伝わるような文章を書くという目的を確認する。 ○学習して理解したことをまとめたワークシートを確認しながら、前時までに読み取った内容を既有的知識や経験と関連付けて文章を書くことができるようにする。 □すごいところランキングの1位について自分の経験や知識を付け加えながら理由を文章にまとめましょう。	
児童に示す4つのポイント ・1位にしたすごいところ ・すごいと思ったことの説明 ・自分と比べて分かったこと「なるほど！」 ・自分と比べて思ったこと「ナイス！」	(記入例) ・私は、ビーバーが長い時間もぐるところをすごいところランキング1位にしました。 ・ビーバーは、ふつうで五時間、長い時には、十五分間も水の中にいます。木をくわえたまま、水の中へもぐりダムを作ります。 ・なるほど！ビーバーは、木をくわえたまま、もぐってダム作りをするから私とちがって長くもぐれないとこまるんだな、と分かりました。 ・ナイス！私は、プールでもぐったとき、17秒もぐるだけでもつらかったのに、ビーバーはもぐっているときダムを作っていることがすごいと思いました。 ◆前時までに残したメモや振り返りを基に考えさせる。 ◆教師が作成した文章を提示し、感想を文章にまとめる際の参考にさせる。 加筆修正する前の文章 私は、ビーバーが長い時間もぐるところをすごいところランキング1位にしました。 ビーバーは、ふつうで五時間、長い時には、十五分間も水の中にいます。木をくわえたまま、水の中へもぐりダムを作ります。 なるほど！ビーバーは、もぐってダム作りをするから私とちがって長くもぐれないとこまるんだな、と分かりました。 ナイス！私は、プールでもぐったとき、17秒もぐるだけでもつらかったからすごいと思いました。 加筆修正した文章 私は、ビーバーが長い時間もぐるところをすごいところランキング1位にしました。 ビーバーは、ふつうで五時間、長い時には、十五分間も水の中にいます。木をくわえたまま、水の中へもぐりダムを作ります。 なるほど！ビーバーは、もぐってダム作りをするから私とちがって長くもぐれないとこまるんだな、と分かりました。 ナイス！私は、プールでもぐったとき、17秒もぐるだけでもつらかったのに、ビーバーはもぐっているときダムを作っていることがすごいと思いました。	「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 (ワークシート)

4 作成した文章を読み、ポイントを確認する。	○作成した文章を読み、4つのポイントが書かれているか確認できるようにする。 □自分の書いた文章を読んで、4つのポイントが書かれているか確認しましょう。	
5 学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。	○次時は友達同士で書いた文章を読み合うことを伝え、児童の活動への意欲を高める。	

(3) 板書計画

④ ③ ② ①

すごいところランキングを書くポイント

1位にしたすごいところ
すごいと思ったことの説明
自分と比べて思ったこと（なるほど！）
自分と比べて思ったこと（ナイス！）

長い時間めぐるところがすごい！

ビバーの夢

わたしたちは、ビバーが長い時間めぐるところをすごいところランキングで順位にしました。	ビバーは、ふつうで五分間、水をくわえなまし、水の中へぐりぐり泳ぎました。	なるほど！ビバーは、もくもくぐりぐり泳ぎました。	ナイス！わたしは、プールでもぐりぐり泳ぎました。
--	--------------------------------------	--------------------------	--------------------------

平本先生がえらぶ、すごいランキング

- 1 長い時間めぐるところ
- 2 大工さんのつかうのみのようなは
- 3 オールのような形のお

⑦ ビバーのすごいところがたつたわるようにかんそうを書こう。

ビバーのすごいところ

- ・大工さんのつかうのみのようなは
- ・オールのような形のお
- ・長い時間めぐるところ

・できからおそわれないすをつくるちえ

① 書いた文しよを読む。

② 書きくわえたときは赤で書く。

★ お家の人にビバーのすごさがつたわるような文しよようにレベルアップしよ！

6 指導の実際

(1) 指導上の工夫

- ・教材文には、児童にとって難しい言葉が多数書かれているため、教師の範読の際に分からない言葉を児童から出させた。分からない言葉の意味を掲示することで、語句の意味をいつでも確かめることができるようにした。
- ・地域人材を活用して幹の回り五十センチメートルの木を用意し、児童に実際に触らせることで、ビーバーがかじっている木についての理解を深めるように工夫した。
- ・自分の知識や経験を毎時間メモとして残させ、感想を書くときの参考にさせた。
- ・ビーバーのすごいところを伝える感想を書く時には、教師が作成した文章を掲示し、4つのポイントを確認することで、文章をまとめる際の参考にさせた。



写真1 語句の意味の掲示



写真2 かじった木の掲示



写真3 感想を書いている様子

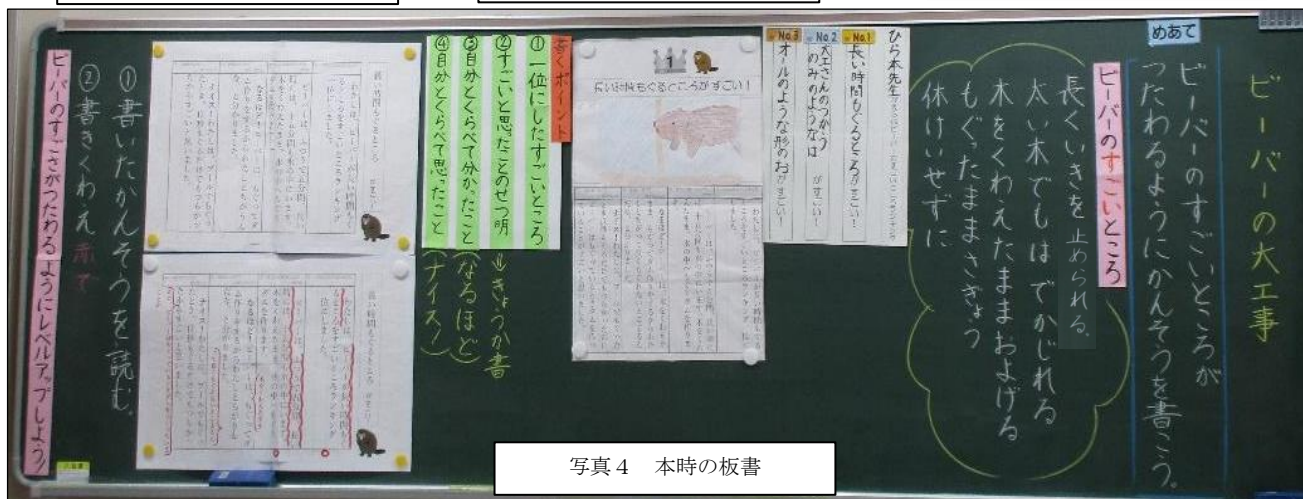


写真4 本時の板書

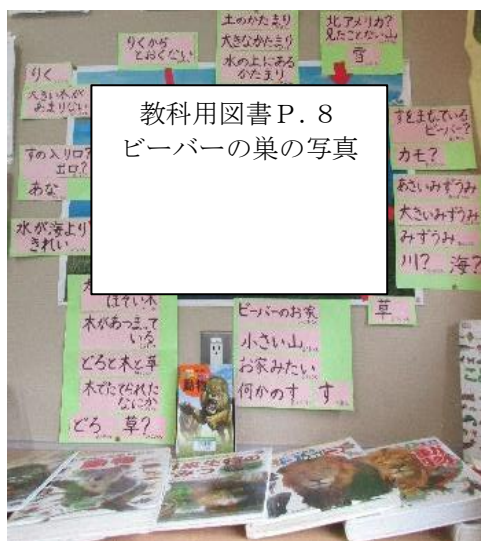


写真4 「考え聞かせ」で出た
児童の発言の掲示

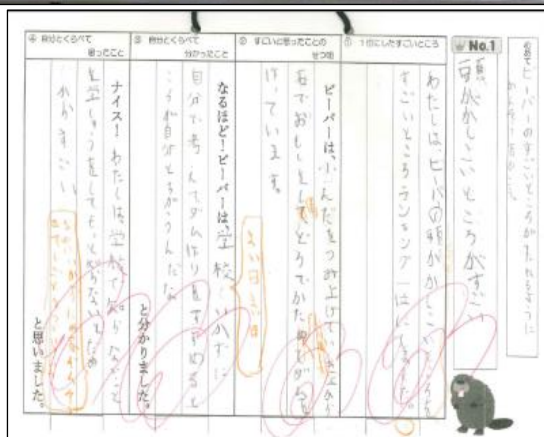


写真6 児童が書いた感想



写真7 教室掲示

(2) 児童のつまずきと実際に講じた手立ての具体

- ・「ささえ」や「のみ」など、文章の中の言葉の意味が分からない児童がいたため、意味を知りたい言葉は何かを聞き、その言葉の理解を深めるために写真と意味を掲示したり、動画を見せたりして理解を深める活動を取り入れた。
- ・既存の経験の差があったため、共通の経験である体育の学習の際、プールでもぐった記録を共有したり、毎時間の振り返りで、自分の知っていることや経験したこととつなげて書かせるようにしたりした。また、記入をした後には、グループで意見交換をさせた。そのことで、経験したことを想起させることもできた。

7 評価の実際

(1) 評価の具体

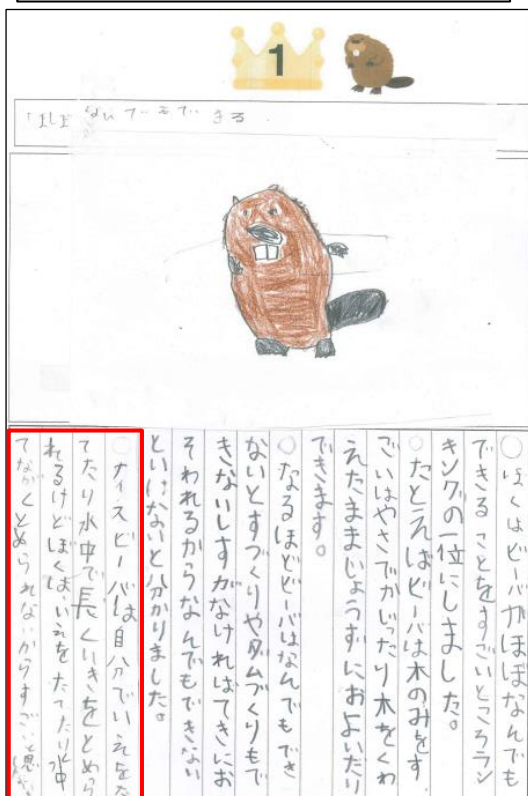
ア 「十分満足できる」状況（A）

- ・ビーバーのすごいところランキング1位にしたことについて、「①1位にしたすごいところ」「②すごいと思ったことの説明」「③自分と比べて分かったこと」「④自分と比べて思ったこと」について文章にまとめている。
- ・文章の内容と自分の体験とを結び付けて、文章全体の内容を踏まえた感想や疑問、知りたいことを見出している。
- ・ビーバーのすごさがより伝わるように文章に書くための言葉を選択し、文章を書くのに必要な情報を書き加えている。

イ 「おおむね満足できる」状況（B）

- ・ビーバーのすごいところランキング1位にしたことについて、「①1位にしたすごいところ」「②すごいと思ったことの説明」「③自分と比べて分かったこと」「④自分と比べて思ったこと」について文章にまとめている。
- ・文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。

「十分満足できる」状況（A）の児童の成果物



文章の内容と自分の体験とを結び付けて、文章全体の内容に対する感想をもっている。

「おおむね満足できる」状況（B）の児童の成果物



文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。

(2) 児童の評価の総括

本単元を終えて、「『読むこと』において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。」における「十分満足できる」状況（A）の児童は、2人、「おおむね満足できる」状況（B）の児童は、26人、「努力を要する」状況（C）の児童は2人だった。

8 成果と課題

(1) 成果

- ・単元の導入で「考え聞かせ」を取り入れ、本文の教材文の範読を聞かせた。教科書の本文だけでなく、写真にも着目して感想を書くことができた。
- ・単元のゴールを「ビーバーのすごいところランキングをお家の人に紹介しよう」としたことで、ビーバーのすごいところを関連図書からも調べようとする姿が見られた。また、家庭にある本から分かったことやお家の人から聞いた話を伝えようとする姿も見られた。
- ・毎時間のワークシートや振り返り、メモ欄を冊子にまとめた。授業中にも、自分の経験とつながると気付いたときには、メモ欄に記入する様子も見られ、児童の思考を整理することができるものになっていた。

(2) 課題

- ・自分の知識や経験をメモとして毎時間残していたが、本時で活用している児童が少なかった。教師が作成した文章を紹介するときにメモの活用の仕方伝えと、メモを活用して感想を書くことができたと考える。
- ・感想の「③自分と比べて分かったこと」「④自分と比べて思ったこと」の区別が難しかった。「なるほど!」や「ナイス!」などのキーワードを使ったが、違いを明確にすることはできなかった。
- ・知識や経験の差があり、感想を書く時に悩んでいる児童がいた。他の児童の経験などを掲示し、想起するときのヒントとなる掲示をする必要があった。
- ・「ビーバーのすごいところ」と限定したため、自分の劣っているところを見つけて文章を書くことになった。「人と比べてすごいところ」や「人にはまねできないところ」など、どの児童も書けるような工夫が必要であった。
- ・「努力を要する」状況（C）にあると評価とした児童は、経験したことと文章を結び付けて感想を書くことができなかった。文章を読み取る際に、ビーバーの行動と自分の経験を結び付けられるようなワークシートの工夫をする必要があると考える。

(3) 今後に向けて

- ・自分の知識や経験と結び付けて文章を書くことを経験していないため、文章を書くときに難しいと感じている児童がいた。国語科だけでなく他教科でも、教科用図書の内容などと自分の知識や経験とを結び付けて文章を書く活動を取り入れる必要があると感じた。
- ・児童の興味・関心を引き出すためにも、身に付けさせたい力を明確にした上で、その力を付けることができ、児童の意欲をかき立てることができるような言語活動の設定が大切である。また、実際に教師がビーバーのすごいところランキングを作成することで、児童のつまずきやすいポイントを見付けることもできるため、教材研究の必要性を改めて感じた。